OKI
PRINTING SOLUTIONS

COREFIDO
コアフィード

# MC860dn/MC860dtn

# スキャン To メール / スキャン To ネットワーク PC 簡易設定ガイド

本書をお読みになる前に、ユーザーズマニュアル（基本操作編）をお読みになり、MC860がネットワーク接続で印刷できるよう、セットアップしてください。

# 設定を始める前に

本書では、MC860 でスキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC（CIFS）を行なうための設定方法を説明しています。
スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC（CIFS）の設定を始める前に、MC860 がネットワークに接続され、コンピュータからネットワークで印刷できるようになっている必要があります。
ネットワークで印刷できない場合は、本書で説明している機能はお使いになれません。　ユーザーズマニュアル（基本操作編）をお読みになり、MC860 をネットワークで接続してください。

以下の流れにそって、設定してください。

● MC860 をネットワークプリンタとして接続します。（ユーザーズマニュアル（基本操作編）をご覧ください。）
　↓
● スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC（CIFS）に必要な設定項目の情報を確認し、次ページの「設定情報シート」に記入します。
　↓
●「設定情報シート」に記入した情報を、説明手順にしたがって、MC860 とコンピュータに設定します。

メモ　本書では、MC860dn, MC860dtn を総称して、MC860 と記載しています。

# 目次

# 設定情報シート

次ページ以降をご覧になり、確認したり設定したりした内容をここにメモしてください。

スキャン To メール / スキャン To ネットワーク PC（CIFS）に共通な設定情報

| No. | 項目 | 概略説明 | 例 | お客様記入欄 |
|---|---|---|---|---|
| G-1 | MC860 の管理者パスワード | MC860 のシステム設定を変更するためのパスワードです。<br>初期値は、aaaaaa です。 | aaaaaa | |
| G-2 | MC860 の IP アドレス | MC860dn に割り当てられている IP アドレスです。 | 192.168.0.2 | |

スキャン To メールに必要な設定情報

| No. | 項目 | 概略説明 | 例 | お客様記入欄 |
|---|---|---|---|---|
| E-1 | 送信者 | MC860 が E メールを送るときに使用する E メールアドレス | mc860 @ test.co.jp | （半角 80 文字以内） |
| E-2 | SMTP サーバー | E メールを送信するときに使用するサーバーのアドレス | smtp.test.co.jp | |
| E-3 | POP3 サーバー | E メールを受信するときに使用するサーバーのアドレス | pop3.test.co.jp | |
| E-4 | SMTP ポート | SMTP サーバーのポート番号 | 587 | |
| E-5 | POP3 ポート | POP3 サーバーのポート番号 | 110 | |
| E-6 | 認証方法 | 送信メールサーバーの認証 | SMTP | |
| E-7 | SMTP ユーザー ID | 送信メールサーバーのアカウント名 | OKIMC860 | |
| E-8 | SMTP パスワード | 送信メールサーバーのパスワード | okimc860 | |
| E-9 | POP ユーザー ID | 受信メールサーバーのアカウント名 | user | |
| E-10 | POP パスワード | 受信メールサーバーのパスワード | okimc860 | |
| E-11 | E メール送信先の名称 | MC860 からスキャン To メールで送りたい相手の名前 | 利用者 | （半角 16 文字（全角 8 文字）以内） |
| E-12 | E メールアドレス | MC860 からスキャン To メールで送りたい相手の E メールアドレス | user@test.co.jp | |

スキャン To ネットワーク PC（CIFS）に必要な設定情報

| No. | 項目 | 概略説明 | 例 | お客様記入欄 |
|---|---|---|---|---|
| C-1 | 送信先のコンピュータ名 | スキャンしたデータを転送するコンピュータの名前 | PC1 | |
| C-2 | ユーザー名 | スキャンしたデータを転送するコンピュータへのログインするためのユーザー名 | mc860 | （半角 32 文字以内、かな漢字使用不可） |
| C-3 | パスワード | スキャンしたデータを転送するコンピュータへのログインするためのパスワード | mc860 | （半角 32 文字以内、かな漢字使用不可） |
| C-4 | プロファイル | MC860 に設定を登録するときの名前 | 販売 | （半角 16 文字（全角 8 文字）以内） |
| C-5 | 共有フォルダ名 | スキャンしたデータを転送するコンピュータのフォルダ名 | 販売部門 | （半角 64 文字（全角 32 文字）以内） |
| C-6 | スキャンファイル名 | スキャンしたデータのファイル名 | ScanData | （半角 64 文字（全角 32 文字）以内） |

# 1　共通な設定情報を確認します

## 1-1　MC860 の管理者のパスワードを確認します。

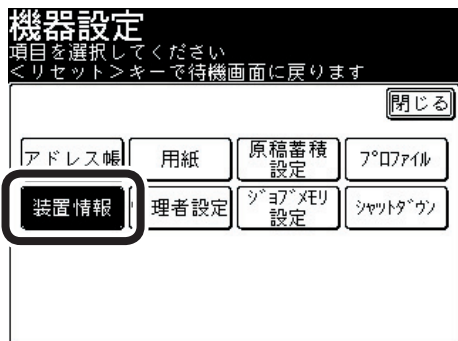
MC860 の管理者に、「管理者のパスワード」を確認して、設定情報シートの「G-1」へ記入します。

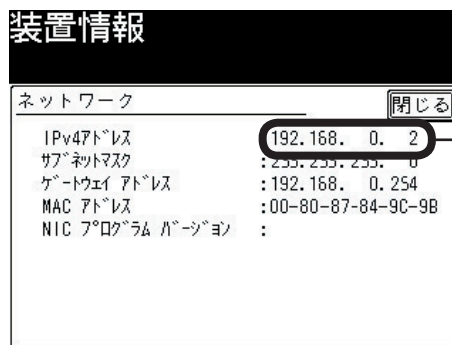
メモ
- パスワードは、大文字 / 小文字が区別されます。
- 工場出荷時の値は、aaaaaa です。

## 1-2　MC860 の IP アドレスを確認します。

本書の手順にとりかかる前に、MC860 がネットワークに接続されていれば、MC860 にはすでに IP アドレスが設定されています。

❶「機器設定」キーを押します。

❷［装置情報］を押します。

❸［ネットワーク］を押します。

❹ IPv4 アドレスの値を、設定情報シートの「G-2」へ記入します。

「G-2」に記入します。

以上でスキャン To メールとスキャン To ネットワーク PC（CIFS）に共通な情報の収集は完了です。

スキャン To メールを使用する場合は、5 ページへ進みます。
スキャン To ネットワーク PC（CIFS）のみ使用する場合は、14 ページへ進みます。

# 2 スキャン To メール

スキャン To メールとは、MC860 でスキャンした画像を E メールに添付して、指定した E メールアドレスに送信する機能です。

## 2-1 スキャン To メールに必要な情報を確認します。

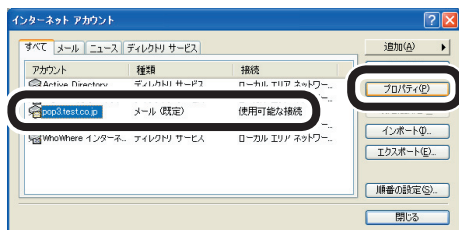
ネットワークの管理者が、MC860 のためのメールサーバーのアカウント、パスワード及びメールアドレス（送信者）等を指定している時は、その内容を設定情報シートに記入します。

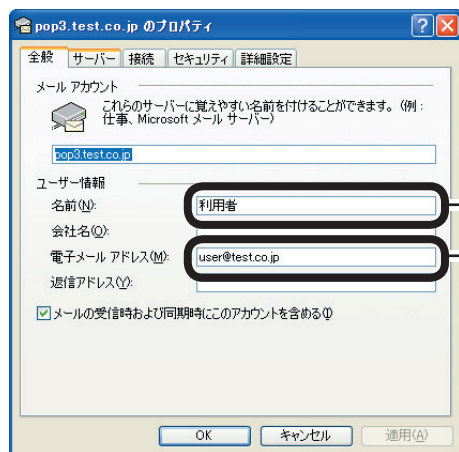
### 2-1-1 ［SMTP サーバー］，［POP 3 サーバー］などを確認し、設定情報シートへ記入します。

この作業は、MC860 からスキャン To メールを送りたいコンピュータで行います。
ここでは、Windows XP 上の Outlook Express を例に説明します。
その他のメールソフトをお使いの場合は、メールソフトのマニュアルをご覧ください。

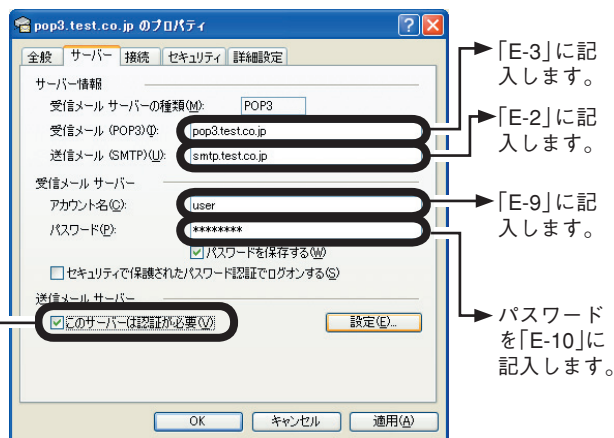
❶「スタート」ボタンをクリックし、［電子メール Outlook Express］を選択します。

❷［ツール］-［アカウント］を選択します。

❸［種類］が、「メール（既定）」となっているアカウントを選択し、［プロパティ］をクリックします。

❹［全般］タブの［名前］、［電子メールアドレス］を設定情報シートの「E-11」、「E-12」に記入します。

「E-11」に記入します。
「E-12」に記入します。

メモ　ここで確認した電子メールアドレスを使い、12 ページでメールを送信します。

❺［サーバー］タブをクリックし、下図にしたがって、設定情報シートの各欄に記入します。

「E-3」に記入します。
「E-2」に記入します。
「E-9」に記入します。
パスワードを「E-10」に記入します。

ここにチェックがある場合は、「E-6」に “SMTP” と記入します。
チェックがない場合は、“POP” と記入します。

❻［設定］をクリックします。

❼「送信メールサーバー」画面を確認し、設定情報シートの「E-7」、「E-8」を記入します。

- ［受信メールサーバーと同じ設定を使用する］がチェックされている場合、「E-9」、「E-10」と同じ内容を「E-7」、「E-8」に記入します。
- ［次のアカウントとパスワードでログオンする］にチェックがついている場合、［アカウント名］を「E-7」に記入し、パスワードを「E-8」に記入します。

❽［詳細設定］タブをクリックし、下図にしたがって、設定情報シートの各欄に記入します。

「E-4」に記入します。

「E-5」に記入します。

## 2-1-2［送信者］（MC860 が使用する E メールアドレス）を確認します。

MC860 が使用する E メールアドレスを、設定情報シートの「E-1」に記入します。
この E メールアドレスがネットワークの管理者から指定されている場合には、その E メールアドレスを記入します。
ADSL などをご使用されている場合には、お使いのプロバイダから E メールアドレスを取得してください。

E メールアドレスが指定されていない場合や取得されていない場合は、

・「E-6」の認証方法が「SMTP」のときには、任意の名称を決め、「E-1」に記入します。

例： mc860@test.co.jp

・「E-6」の認証方法が「POP」のときには、「E-12」と同じ名称を「E-1」に記入します。

注

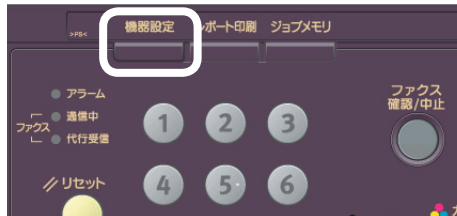
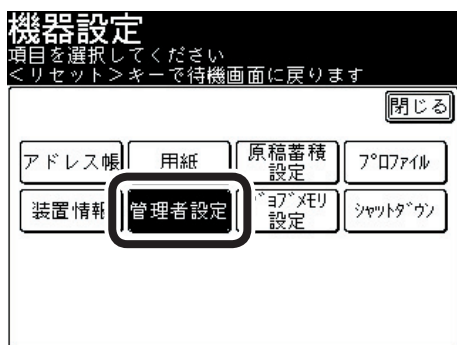
・［送信者］（E メールアドレス）を MC860 に設定しないと、メール送信時にメールサーバーでエラーになり、送信されません。
・MC860 で E メールを受信させるときは、必ずネットワーク管理者やプロバイダから E メールアドレスを取得してください。

## 2-2 スキャン To メールのための MC860 を設定します。

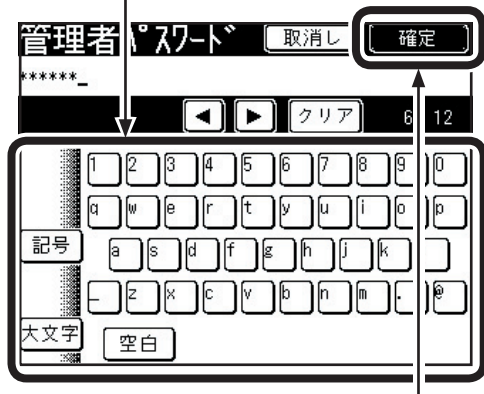
手順 1、手順 2-1 で調べた情報を、MC860 に入力します。

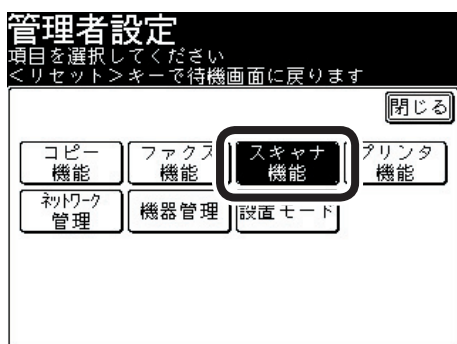
MC860 に［送信者］,［SMTP サーバ］,［POP3 サーバ］,［SMTP ポート］,［POP3 ポート］,［認証方法］,［POP ユーザ ID］,［POP パスワード］,［E メール送信先の名称と E メールアドレス］を設定します。

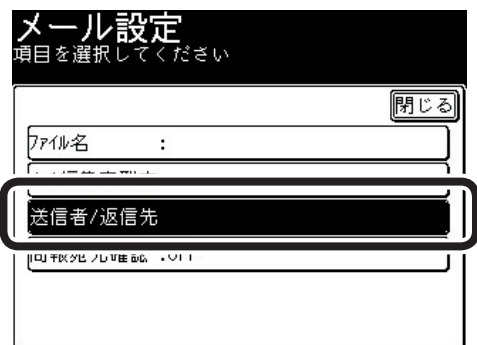
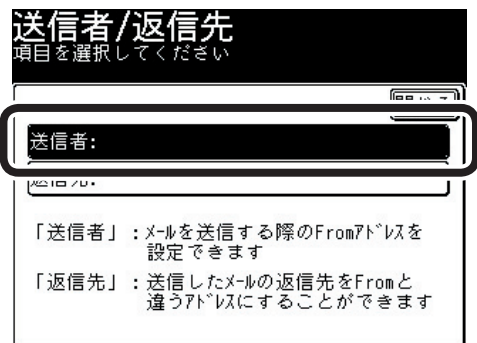
### 2-2-1 MC860 に［送信者］を設定します。

❶「機器設定」キーを押します。

❷［管理者設定］を押します。

❸ 管理者パスワード（設定情報シート「G-1」の値）を入力し、［確定］を押します。

LCD 上のキーをタッチして入力します。

全て入力したら、［確定］を押します。

❹［スキャナ機能］を押します。

❺［メール設定］を押します。

❻［送信者 / 返信先］を押します。

❼［送信者］を押します。

❽ 設定情報シートの「E-1」の値を入力し、［確定］を押します。

❾［送信者 / 返信先］画面で、［閉じる］を押します。

❿［メール設定］画面で、［閉じる］を押します。

⓫［スキャナ機能］画面で、［閉じる］を押します。

［管理者設定］画面になったことを確認します。

つづいて、［メールサーバ］を設定します。

## 2-2-2 MC860 に［メールサーバ］に関する項目を設定します。

❶［ネットワーク管理］を押します。

❷［メールサーバ設定］を押します。

❸［SMTP サーバ］を押します。

❹設定情報シートの「E-2」の値を入力し、［確定］を押します。

❺ ［POP3 サーバ］を押します。

❻ 設定情報シートの「E-3」の値を入力し、［確定］を押します。

❼［SMTP ポート］を押します。

❽ テンキーを使用して、設定情報シートの「E-4」の値を入力し、［確定］を押します。

❾［POP3 ポート］を押します。

❿ テンキーを使用して、設定情報シートの「E-5」の値を入力し、［確定］を押します。

⓫［▶］を押します。

⓬［認証方法］を押します。

⓭ 設定情報シートの「E-6」の値を押し、[確定]を押します。

［認証方法］が［無し］の場合は、手順㉓（11 ページ）へ進みます。

⓮［SMTP ユーザ ID］を押します。

⓯ 設定情報シートの「E-7」の値を入力し、[確定]を押します。

⓰［SMTP パスワード］を押します。

⓱ 設定情報シートの「E-8」の値を入力し、[確定]を押します。

⓲［POP ユーザ ID］を押します。

⓳ 設定情報シートの「E-9」の値を入力し、[確定]を押します。

⓴［POP パスワード］を押します。

㉑ 設定情報シートの「E-10」の値を入力し、[確定]を押します。

㉒ [メールサーバ設定] 画面で、[閉じる] を押します。

㉓ [ネットワーク管理] 画面で、[閉じる] を押します。

㉔ [はい] を押します。

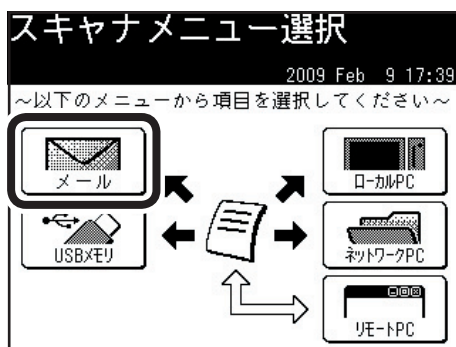
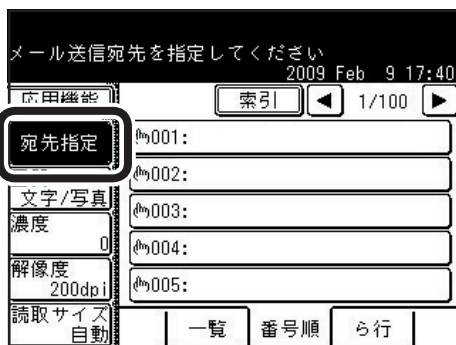
㉕「ネットワークカードを再起動しています」を表示し、しばらくすると、待機画面になります。

これで、スキャン To E メールの設定は完了です。

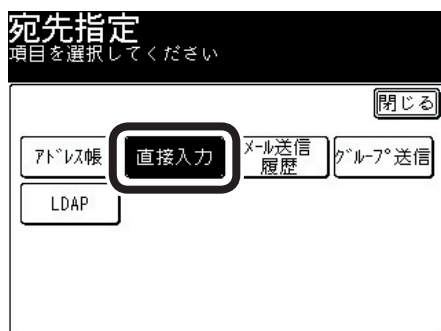
## 2-3　スキャン To メールを使います。

スキャン To メールができるかどうか、テスト送信しましょう。

❶ 操作パネルの「スキャナ」キーを押します。

❷ [メール] アイコンを押します。

❸［宛先指定］を押します。

❹ 宛先を入力します。

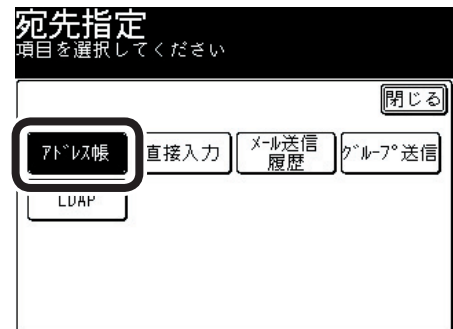
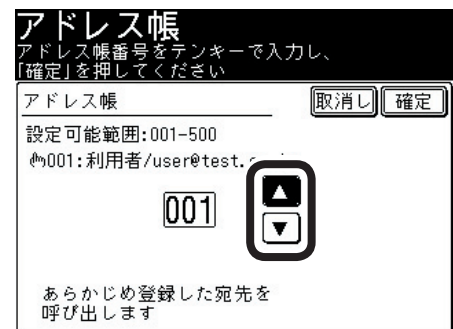
● 宛先を操作パネルから入力する場合

1)［直接入力］を押します。

2) 設定情報シートの「E-12」の値を入力します。

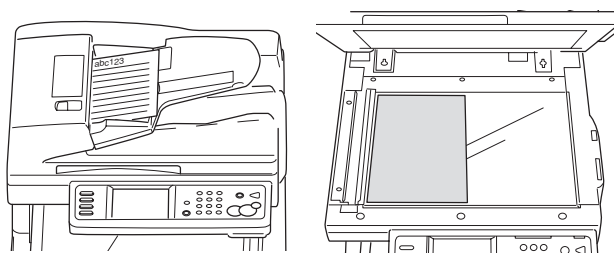
3)［確定］を押します。

☞ 13 ページの ❺ へ進みます。

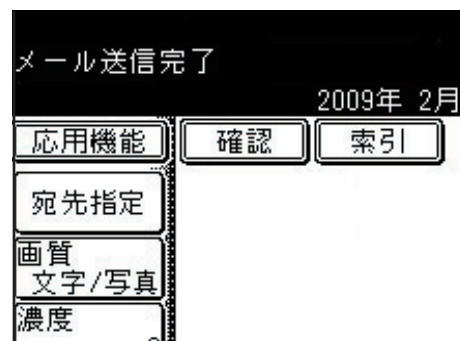
● アドレス帳に宛先を登録してある場合

1)［アドレス帳］を押します。

2) ▲又は▼を押し、宛先を登録した番号を選択します。

メモ　テンキーを使用して入力することもできます。

3）［確定］を押します。

❺ 送信したい原稿を、ADF またはガラス面にセットします。

❻［メール送信できます］を表示していることを確認して、＜カラースタート＞キー、または、＜モノクロスタート＞キー を押します。

❼ LCD 画面に［原稿読取中］と表示し、スキャン To E メールを開始します。

送信が完了すると、［メール送信完了］と表示します。

❽ 送り先のコンピュータに、MC860 から E メールが届いていることを確認します。

E メールが届いていれば、設定は完了です。

届いていない場合は、もう一度設定内容を確認してください。

# 3 スキャン To ネットワーク PC（CIFS）

スキャン To ネットワーク PC とは、MC860 でスキャンした画像を、ネットワーク接続されているコンピュータの「共有フォルダ」へ送信・保存する機能です。

注 コンピュータに本書にしたがって共有フォルダを作成しても良いか、ネットワーク管理者に確認した上で、設定を始めてください。

ここでは、CIFS プロトコルを利用した方法を説明します。
以下、スキャン To CIFS と表記します。

### 設定の流れ

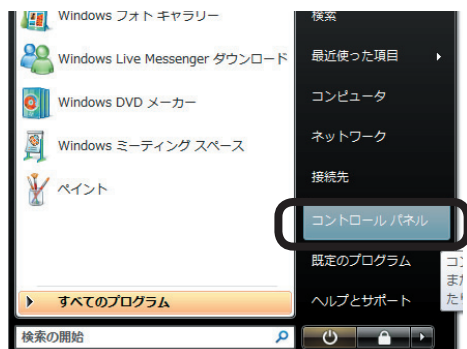
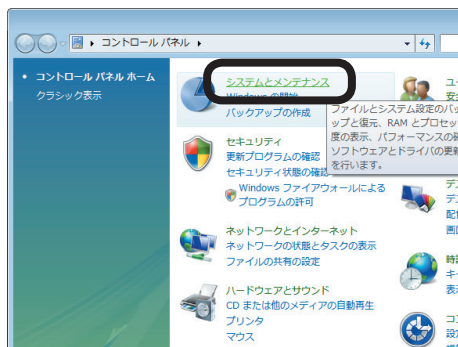
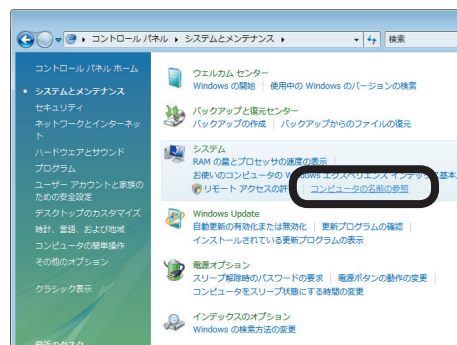
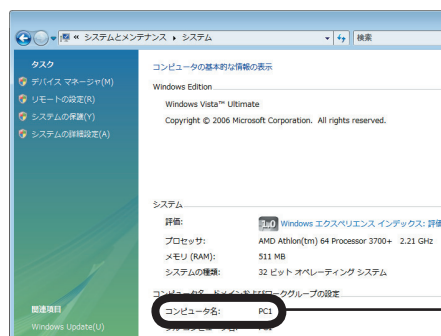
- スキャン To CIFS に必要な情報を「設定情報シート」に記入します。
  ↓
- スキャン To CIFS でデータを送りたいコンピュータに、MC860 がアクセスできるよう、コンピュータを設定します。
  ↓
- 設定したコンピュータに「共有フォルダ」を作成します。
  ↓
- 「設定情報シート」に記載した値を元に、MC860 に「プロファイル」を登録します。

メモ プロファイルとは、ユーザー名、保存先のフォルダ名、保存するデータのファイル名、スキャンする解像度、コントラストや色相調整などの設定の組合せのことです。
よく使う設定値の組合せをプロファイルとして登録しておき、使用時にそのプロファイルを指定することにより、毎回、個々の設定値を入力する必要がなくなります。

## 3-1 スキャン To CIFS に必要な情報を確認します。

### 3-1-1 スキャン To CIFS でデータを送りたいコンピュータの名前を確認し、設定情報シートの「C-1」へ記入します。

Windows Vista の場合

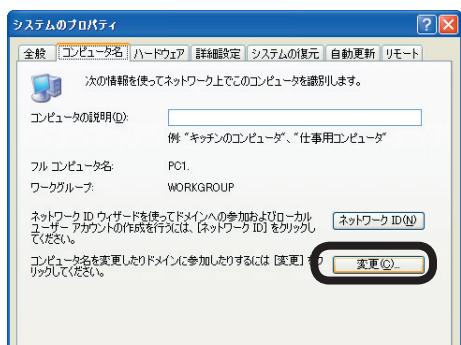
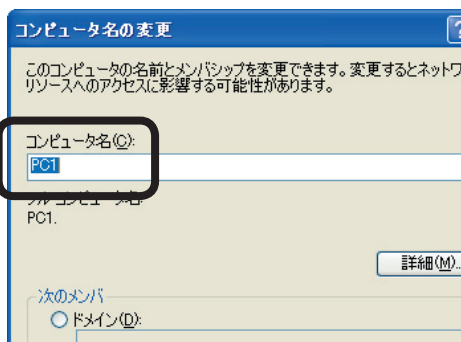
❶［スタート］-［コントロールパネル］を開きます。

❷［システムとメンテナンス］を開きます。

❸［システム］の「コンピュータの名前の参照」を選択します。

❹［コンピュータ名］を確認し、設定情報シートの「C-1」へ記入します。

「C-1」に記入します。

❺［キャンセル］をクリックして、ウインドウを閉じます。

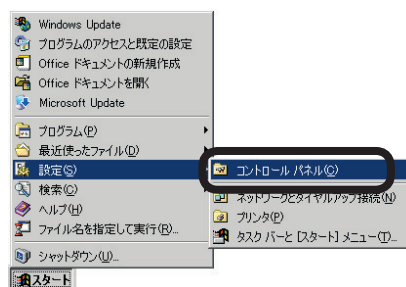
## Windows XP の場合

❶［スタート］-［コントロールパネル］を開きます。

❷［システム］（カテゴリ表示の場合は、［パフォーマンスとメンテナンス］-［システム］）を開きます。

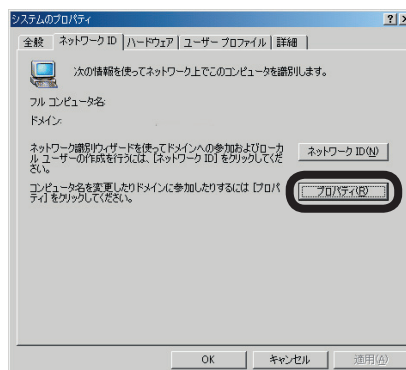
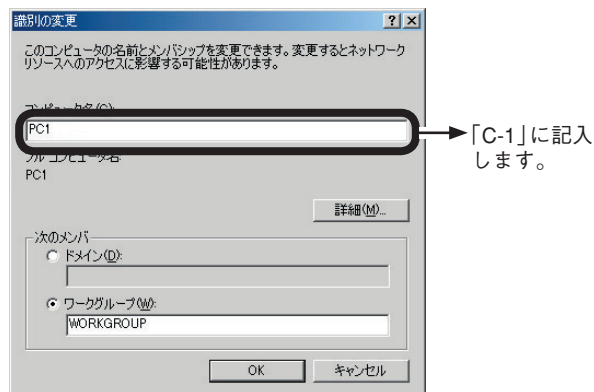
❸「コンピュータ名」タブを選択し、［変更］をクリックします。

❹［コンピュータ名］を確認し、設定情報シートの「C-1」へ記入します。

❺［キャンセル］をクリックして、ウインドウを閉じます。

## Windows 2000 の場合

❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を開きます。

❷［システム］を開きます。

❸「ネットワーク ID」タブを選択し、［プロパティ］をクリックします。

❹［コンピュータ名］を確認し、設定情報シートの「C-1」へ記入します。

「C-1」に記入します。

❺［キャンセル］をクリックして、ウインドウを閉じます。

### 3-1-2 データを送りたいコンピュータへログインするためのユーザー名とパスワードを決め、設定情報シートの「C-2」、「C-3」へ記入します。（かな漢字使用不可）

### 3-1-3 MC860 に設定を登録するときのプロファイル名を決め、設定情報シートの「C-4」へ記入します。（かな漢字使用可）

### 3-1-4 送ったデータを保存するコンピュータのフォルダ名を決め、設定情報シートの「C-5」へ記入します。（かな漢字使用可）

### 3-1-5 スキャンしたデータファイルに付ける名前を決め、設定情報シートの「C-6」へ記入します。（かな漢字使用可）

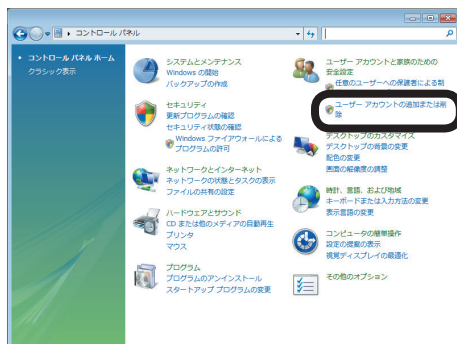
## 3-2 スキャン To CIFS でデータを送りたいコンピュータの設定をします。

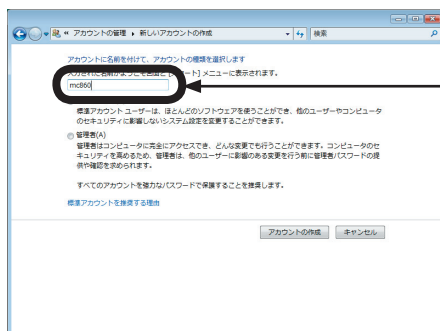
コンピュータに、MC860 をユーザーとして登録し、共有フォルダを設定します。
コンピュータがドメインに参加している場合、ユーザーの追加の手順が本書とは異なります。
詳しくは Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。

Windows XP をお使いの方は、18 ページへ進みます。
Windows 2000 をお使いの方は、20 ページへ進みます。

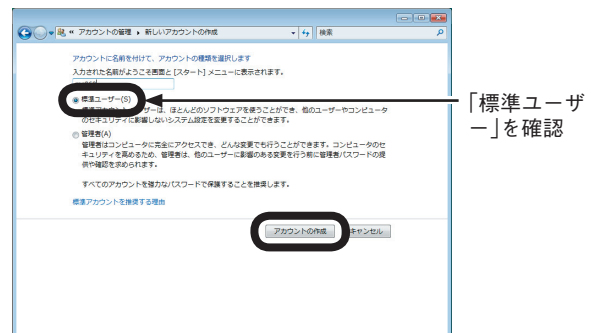
Windows Vista の場合

❶ [スタート] - [コントロールパネル] を選択します。

❷ [ユーザーアカウントの追加または削除] をクリックします。

❸ [新しいアカウントの作成] をクリックします。

❹ 設定情報シートの「C-2」の値を入力します。

「C-2」の値を入力します。

❺「標準ユーザー」が選択されているのを確認して、[アカウントの作成] をクリックします。

「標準ユーザー」を確認

❻ 手順❹で入力したユーザー名のアイコンをクリックします。

❼ [パスワードの作成] をクリックします。

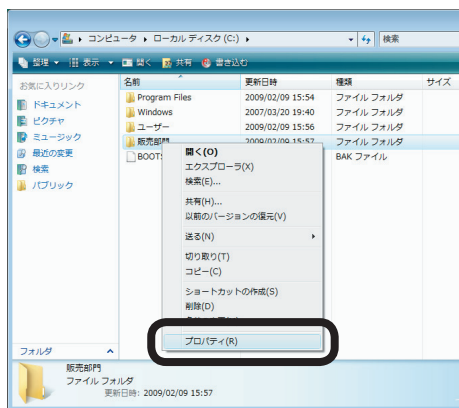
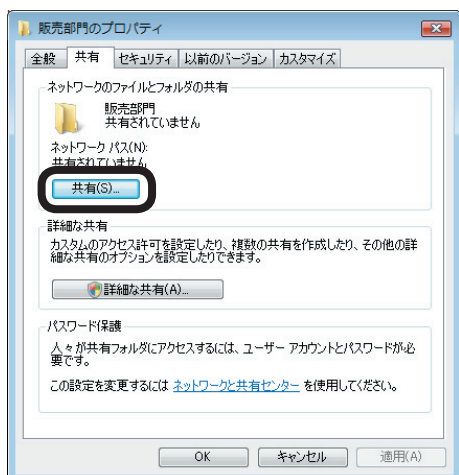
❽［新しいパスワード］［新しいパスワードの確認］に設定情報シートの「C-3」の値を入力し、［パスワードの作成］をクリックします。

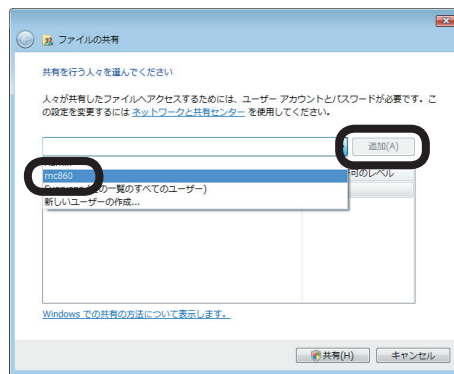
「C-3」の値を入力します。

❾［コントロールパネル］を閉じます。

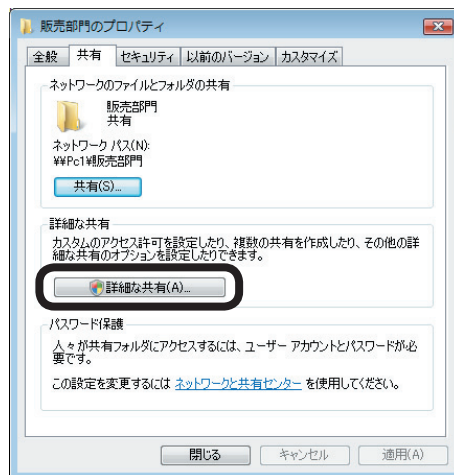
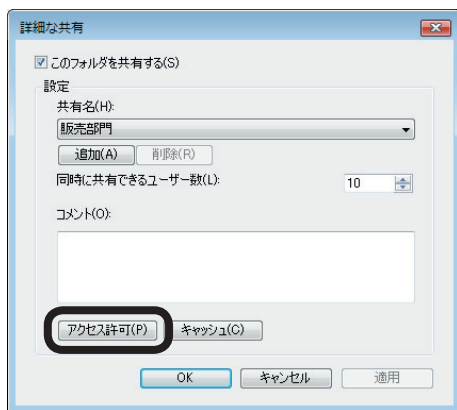
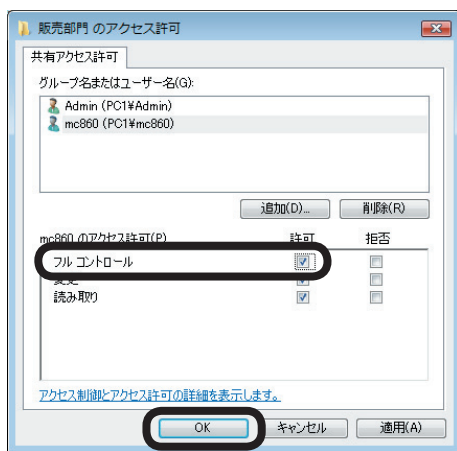
つづいて、コンピュータに、MC860 でスキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

❿コンピュータに、MC860 でスキャンしたデータを保存するために、設定情報シート「C-5」の名前を付けたフォルダを作ります。

⓫手順❿で作成したフォルダを右クリックで選択し、［プロパティ］を開きます。

⓬「共有」タブの［共有］をクリックします。

⓭手順❹で追加したユーザーを選択し、［追加］をクリックします。

⓮追加したユーザーを選択し、［共有］をクリックします。

⓯［終了］をクリックします。

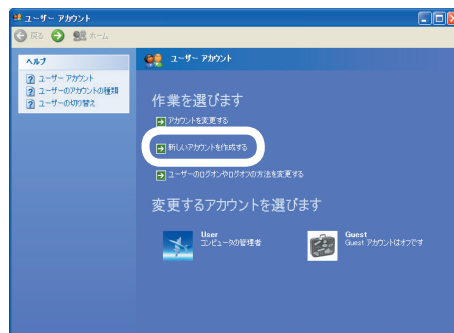
⓰共有タブの［詳細な共有］をクリックします。

⑰［アクセス許可］をクリックします。

⑱［フルコントロール］の［許可］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

⑲フォルダのプロパティを閉じます。

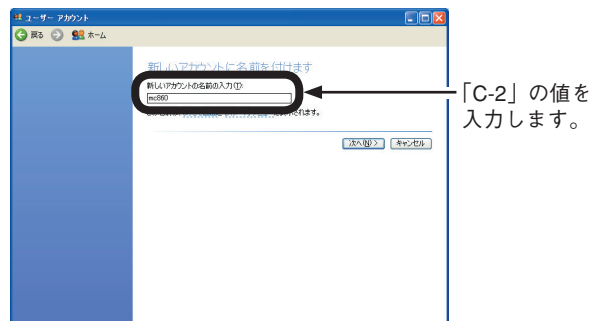
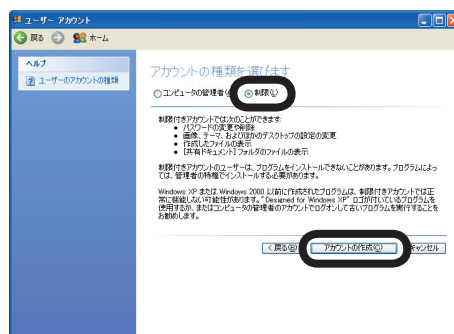
「3-3　MC860 にスキャン To CIFS のための設定をします。」（22 ページ）へ進みます。

## Windows XP の場合

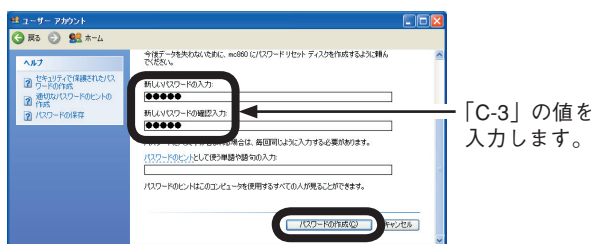
❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択します。

❷［ユーザーアカウント］をクリックします。

❸［新しいアカウントを作成する］をクリックします。

❹設定情報シートの「C-2」の値を入力します。

「C-2」の値を入力します。

❺「アカウントの種類を選びます」で［制限］を選択し、［アカウントの作成］をクリックします。

❻ 追加したユーザーのアイコンを選択します。

❼［パスワードを作成する］をクリックします。

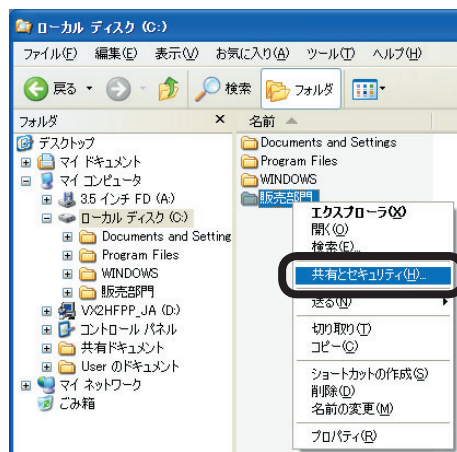
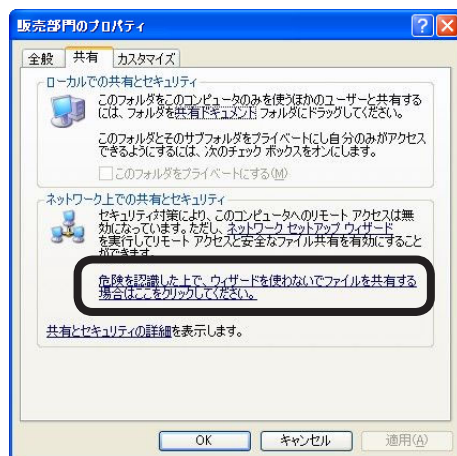
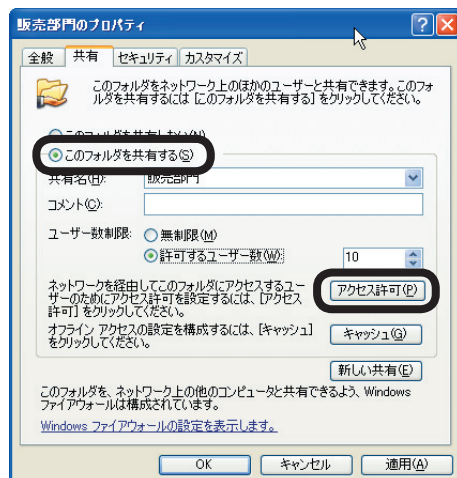
❽［新しいパスワードの入力］［新しいパスワードの確認入力］欄に、設定情報シートの「C-3」の値を入力し、［パスワードの作成］をクリックします。

「C-3」の値を入力します。

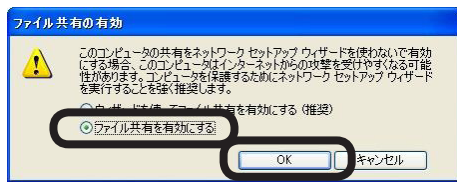
❾ コントロールパネルを閉じます。

つづいて、コンピュータに、MC860 でスキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

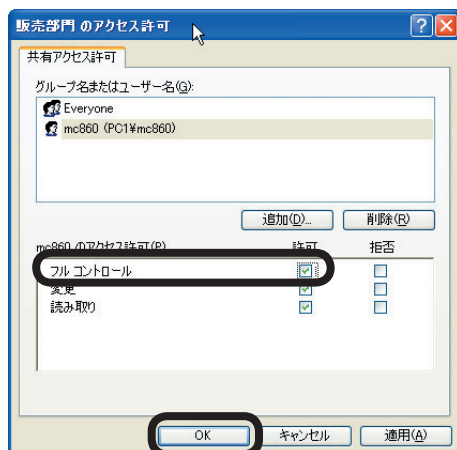
❿ コンピュータに、MC860 でスキャンしたデータを保存するために、設定情報シート「C-5」の名前を付けたフォルダを作ります。

メモ データを保存するフォルダは、ローカルディスクに作ることをお奨めします。デスクトップやマイドキュメント内に作ることは推奨しません。

⓫ 手順❿で作成したフォルダを選択し、［共有とセキュリティ］を開きます。

⓬ 枠で示した部分をクリックします。

メモ 下のような画面が表示されたら、［このフォルダを共有する］にチェックを入れ、［アクセス許可］をクリックします。

⓯へ進みます。

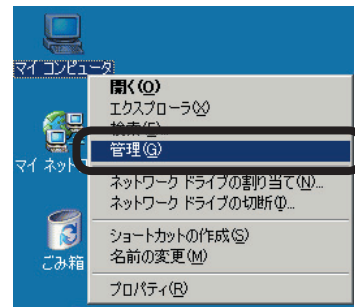
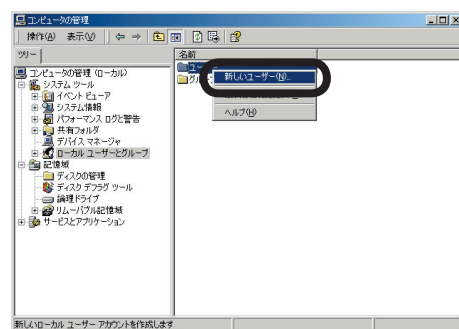
⓭ Windows ファイアウォール　で、［ファイル共有を有効にする］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

⓮［ネットワーク上でこのフォルダを共有する］、［ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する］にチェックを付け［OK］をクリックします。

「3-3　MC860 にスキャン To CIFS のための設定をします。」（22 ページ）へ進みます。

⓯［フルコントロール］の［許可］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

⓰ フォルダのプロパティを閉じます。

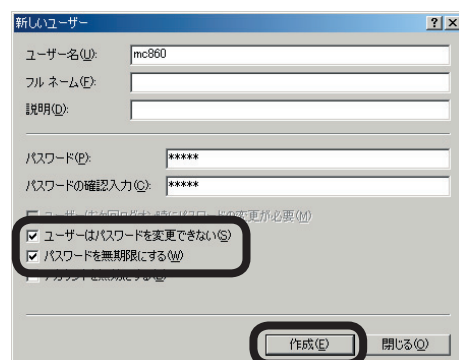
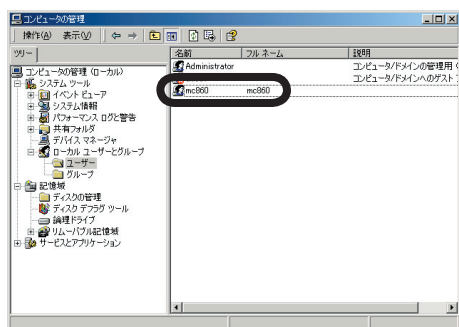
「3-3　MC860 にスキャン To CIFS のための設定をします。」（22 ページ）へ進みます。

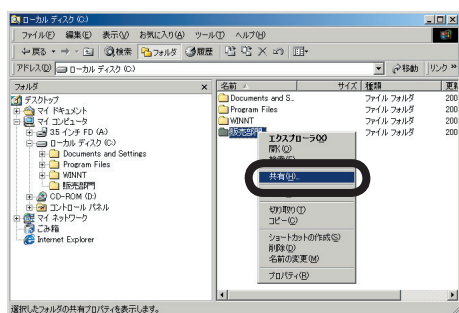
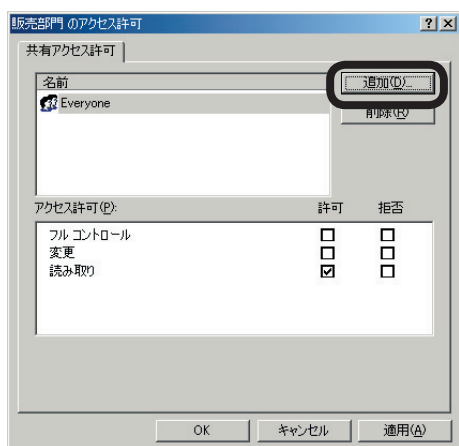
## Windows 2000 の場合

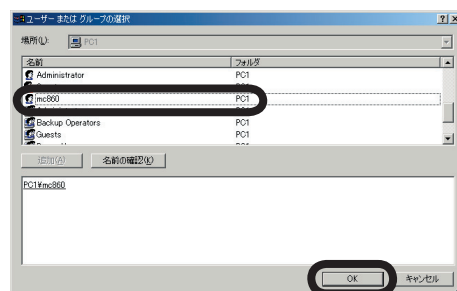
❶「マイ コンピュータ」を右クリックし、「管理」を選択します。

❷「システム ツール」-「ローカル　ユーザーとグループ」を選択し、右画面で［ユーザー］-［新しいユーザー］を選択します。

❸［ユーザー名］に、設定情報シートの「C-2」の値を、［パスワード］［パスワードの確認入力］に「C-3」の値を入力します。

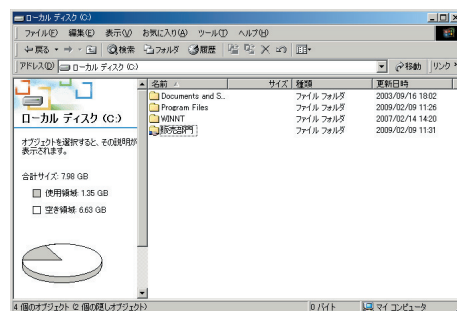
「C-2」の値を入力します。

「C-3」の値を入力します。

❹［ユーザーはパスワードを変更できない］と［パスワードを無期限にする］にチェックをつけ、［作成］をクリックします。

❺「ユーザー」を開き、手順❹で作成したユーザーが表示されていることを確認し、ウインドウを閉じます。

❻ コンピュータに、MC860 でスキャンしたデータを保存するために、設定情報シート「C-5」の名前を付けたフォルダを作ります。

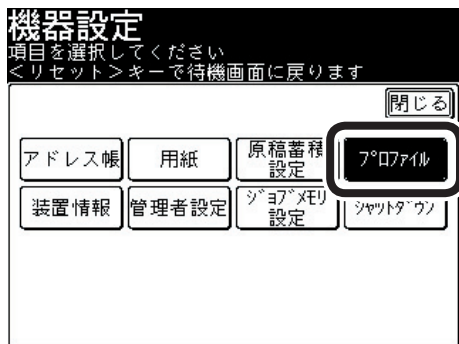
❼ 手順❻で作成したフォルダを選択し、右クリックで、［共有］を選択します。

❽［追加］をクリックします。

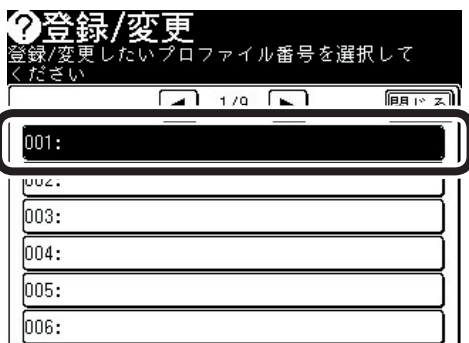
❾ 手順❹で追加したユーザーを選択し、［OK］をクリックします。

❿［フルコントロール］の［許可］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

⓫ 共有されたフォルダのアイコンが、手のマークがついたアイコンに変わったことを確認し、ウインドウを閉じます。

「3-3　MC860 にスキャン To CIFS のための設定をします。」（22 ページ）へ進みます。

## 3-3　MC860 にスキャン To CIFS のための設定をします。

❶「機器設定」キーを押します。

❷［プロファイル］を押します。

❸［登録 / 変更］を押します。

❹ 登録したいプロファイル番号を押します。

❺ 設定情報シート「C-4」に記入したプロファイル名を入力します。

ここでは、漢字で、「販売」と入力する例を説明します。

i)　かなを入力します。

ii)［変換］を押します。

iii) 漢字を選択します。

iv)［確定］を押します。

❻［対象 URL］を押します。

❼設定情報シートの「C-1」、「C-5」に記入した値を次のように入力し、［確定］を押します。

¥¥ +「C-1」+ ¥ +「C-5」

（¥は半角です。［記号］-［半角］を押してから入力します。）

本書の例では、¥¥PC1¥販売部門 となります。

❽［ユーザー名］を押します。

❾設定情報シートの「C-2」の値を入力し、［確定］を押します。

注 ドメイン管理している場合は、ユーザ名 + @ + ドメイン名を入力します。

❿［▶］を押し、2 ページ目へ移動します。

⓫［パスワード］を押します。

⓬設定情報シートの「C-3」の値を入力し、［確定］を押します。

⓭［ファイル名］を押します。

⑭ 設定情報シートの「C-6」の値を入力し、[確定]を押します。

メモ ファイル名の文字数は、最大で半角 64 文字（全角 32 文字）以内です。
ファイル名の最後に「#n」を付けると、送信されたファイル名の最後に自動的に連番が付与されます。
ファイル名の最後に「#d」を付けると、送信されたファイル名の最後に自動的に日付が付与されます。

⑮ 必要に応じて、その他の値を設定します。

⑯ すべての値を設定したら、[確定] を押します。

⑰「登録 / 変更」画面で、[閉じる] を押します。

⑱「プロファイル」画面で、[閉じる] を押します。

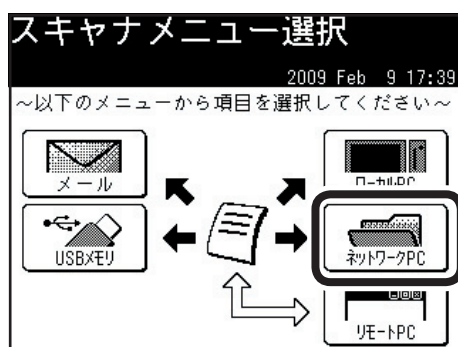
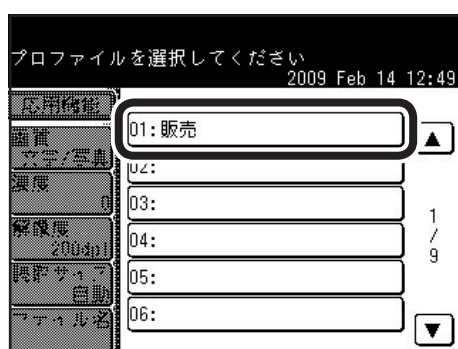
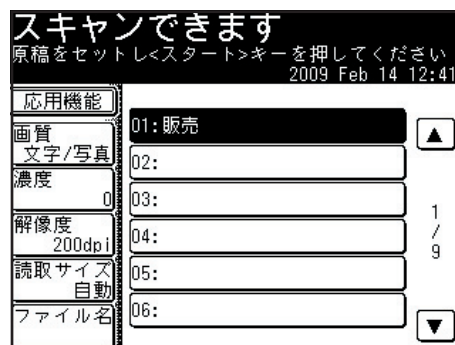
⑲「機器設定」画面で、[閉じる] を押します。

これで、スキャン To CIFS の設定は完了です。

## 3-4　スキャン To CIFS を使います。

スキャン To CIFS ができるかどうか、テスト送信しましょう。

❶ 操作パネルの「スキャナ」キーを押します。

❷ アイコンを押します。

❸ 登録したプロファイルを選択します。

❹［スキャンできます］と表示されたことを確認して、<カラースタート>キー、または、<モノクロスタート>キー を押します。

❺ LCD 画面に［原稿読取中］と表示し、スキャン To CIFS を開始します。

送信が完了すると、［送信完了］と表示します。

❻ 送り先のコンピュータに、MC860 からスキャンしたファイルが保存されていることを確認します。

ファイルが保存されていれば、設定は完了です。
保存されていない場合は、もう一度設定内容を確認してください。

# 4 E メールアドレス帳 / 電話帳を一括登録するには

Configuration Tool を使用して､パソコン上で作成したE メールアドレス帳や電話帳(短縮ダイヤル)を、一括して MC860 に登録することができます。
Configuration Tool のセットアップについては、ユーザーズマニュアル(応用編)の「6 章便利なユーティリティリティソフトウエア」をご覧ください。
ここでは、E メールアドレス帳を例に説明します。

登録の流れ

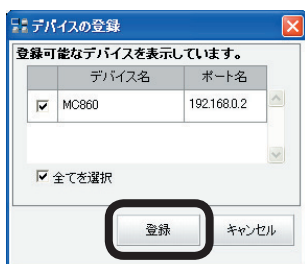
- MC860 に E メールアドレスを、1 人分だけ、登録します。
↓
- MC860 から E メールアドレス帳を CSV ファイルに書き出します。
↓
- 書き出した CSV ファイルを Microsoft-Excel で編集し、アドレスを追加します。
↓
- 編集した CSV ファイルを MC860 へ読み込みます。

## 4-1 CSV ファイルを書き出します。

❶ Configuration Tool を起動します。
[スタート] - [すべてのプログラム] (Windows 2000 では [プログラム]) - [沖データ] - [Configuration Tool] - [Configuration Tool] を選択します。

Configuration Tool に MC860 が登録されている場合は、手順❺へ進みます。

❷「ツール」メニューの「デバイスの登録」を選択し、MC860 を検索します。

❸ E メールアドレス帳を登録したい MC860 にチェックをつけ、[登録] をクリックします。

❹「デバイスの登録」画面を閉じます。

❺「登録デバイス一覧」から、設定したい MC860 を選択し、[User Setting] をクリックします。

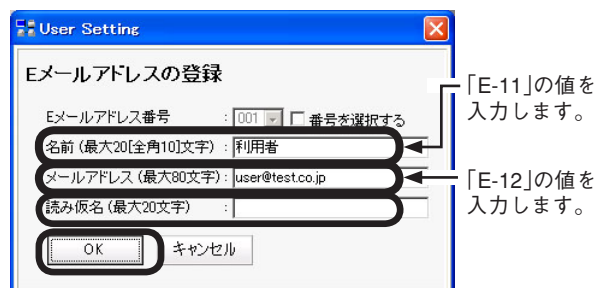
❻ [E メールアドレスマネージャー] をクリックします。
(電話帳を編集する場合は、[短縮ダイヤルマネージャー] をクリックします。)

❼「管理者のパスワード」に、設定情報シートの「G-1」の値を入力し、[OK] をクリックします。

❽ [新規作成 (E メールアドレス)] アイコンをクリックします。

❾「名前」に設定情報シートの「E-11」の値を､「メールアドレス」に「E-12」の値を入力します。
「読み仮名」を入力し、[OK] をクリックします。

「E-11」の値を入力します。

「E-12」の値を入力します。

⑩ ［ファイルへエクスポート］アイコンをクリックし、Eメールアドレス帳をCSVファイルとして書き出します。

## 4-2 CSVファイルにアドレスを追加します。

❶ 書き出したCSVファイルを、Microsoft-Excelで開きます。

| | A | B | C | D | E | F | G |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | RecordID | EntryNumber | Name | Pinyin | EmailAddress | Members | |
| 2 | #000 | 1 | 利用者 | | user@test.co.jp | | |
| 3 | | | | | | | |

注 CSVファイルを開いたときに既に入力されている項目名などを変更しないでください。

❷ CSVファイルに登録したい内容を入力します。

A（RecordID）列には、必ず先頭に#を付けて#001, #002,・・・と続けて登録する分だけ追加します。

B（EntryNumber）列には、2, 3,・・・と登録する分だけ追加します。

C（Name）列には、宛先名を入力してください。

注 宛先名は、Eメールアドレス帳では、全角で8文字以内、電話帳では、全角で12文字以内です。

D（Pinyin）列には、読み仮名を半角カタカナで8文字以内で入力します。

E（EmailAddress）列にEメールアドレス（電話帳の場合はFAXの電話番号）を入力してください。

メモ 電話番号の最初の0が削除されてしまう場合、表示形式で文字列を指定し、半角で入力してください。

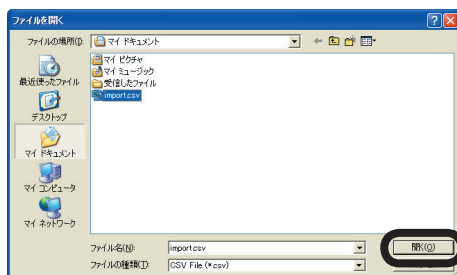
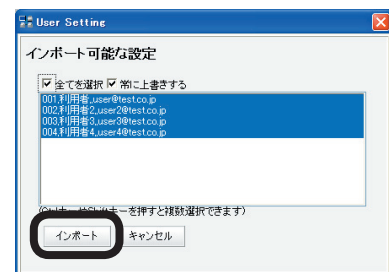
F（Members）列は入力不要です。

❸ すべての入力が終わったら、ファイルをCSV形式で保存し、Microsoft-Excelを終了します。

注 MC860に登録可能な件数は、Eメールアドレス帳、電話帳とも、それぞれ500件までです。
それ以上の件数が入力されたファイルは、4-3で説明する、ファイルのインポートができません。

## 4-3 MC860にCSVファイルをインポートします。

❶ Eメールアドレスマネージャーの ［ファイルからインポート］アイコンをクリックします。

❷ CSVファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸ インポートするEメールアドレスを選択して、［インポート］をクリックします。

注 文字数が制限を越えていたり、Excelを終了していない場合は、「ファイルをインポートできません」と表示されます。

❹ ［デバイスへ保存］アイコンをクリックします。

❺ Configuration Toolを終了します。

これで、Eメールアドレス帳の登録は完了です。

# 5 受信 FAX を印刷せずにサーバーや E メールに送信するには（自動配信）

スキャン To メールやスキャン To CIFS の機能を利用して、MC860 が受信したファクスを印刷せずに、コンピュータに保存したり、E メールとして送信することができます。

コンピュータに保存する場合は、スキャン To CIFS の設定が必要です。14 ページを参照

E メールとして送信する場合は、スキャン To メールの設定が必要です。5 ページを参照

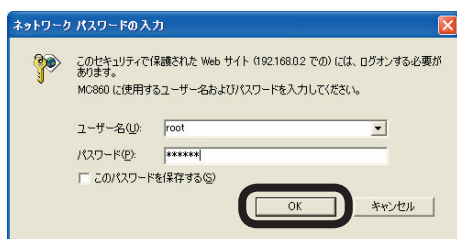
ここでは以下の環境を例に説明します。

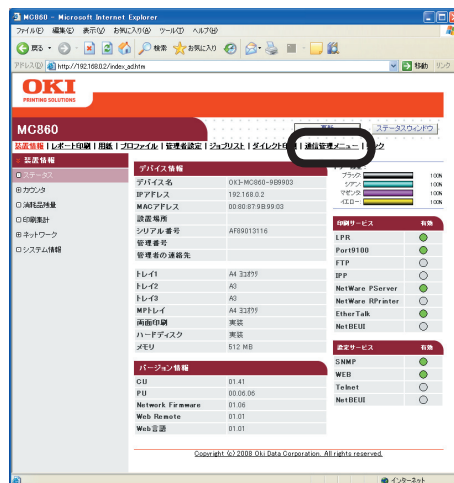
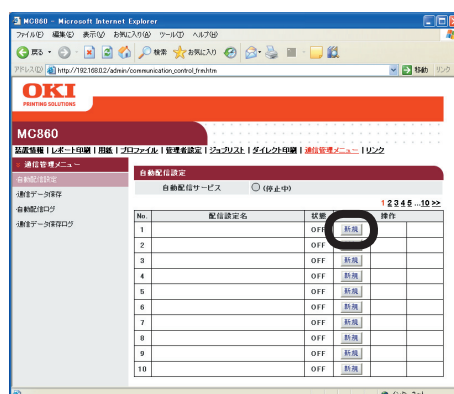
装置名：　MC860
装置の IP アドレス：192.168.0.2
MAC アドレス：　00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ：　Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に「http:// 装置の IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に設定情報シートの「G-1」の値を入力し、［OK］をクリックします。

❺［スキップ］をクリックします。

❻［通信管理メニュー］をクリックします。

❼［新規］をクリックします。

❽［配信設定名］に任意の名称を入力し､「配信設定」を「有効」に､「受信 FAX」にチェックを入れ､［プリント］を「OFF」にします。

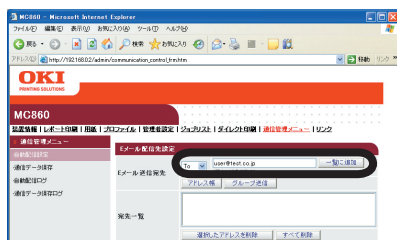
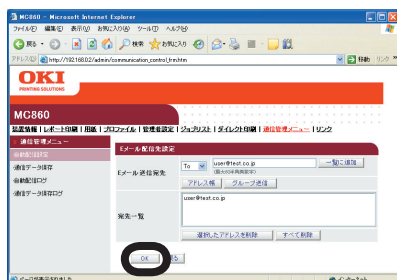
任意の名称を入力します。
チェックを入れます。
「有効」にします。 「OFF」にします。

メモ 絞り込み条件設定を行うと、自動配信する相手先を選択できます。

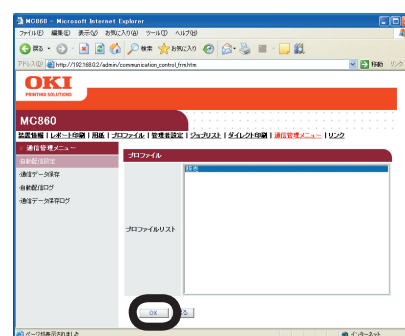
❾［配信先］を設定します。

• E メールとして送信する場合

1)［E メール配信先設定］をクリックします。

2) 送信したい E メールアドレスを入力して､［一覧に追加］をクリックします。

3) 宛先一覧に、入力した E メールアドレスが表示されていることを確認して、［OK］をクリックします。

• コンピュータに保存する場合

1)［編集］をクリックします。

2) プロファイルリストから、保存したいフォルダを設定しているプロファイルを選択し、［OK］をクリックします。

❿［送信］をクリックします。

MC860 に設定が送信され、MC860 が再起動します。

これで、自動配信の設定は完了です。

# 6 エラーになったとき

## 6-1 エラーメッセージと対処方法

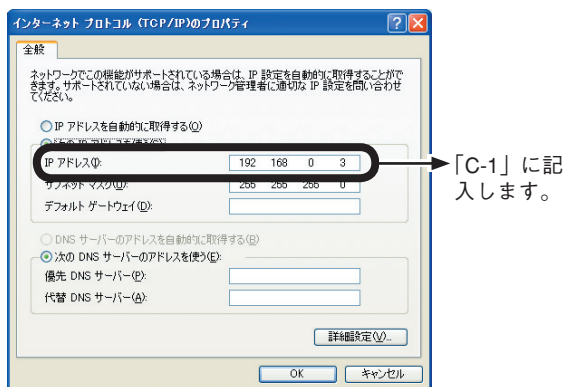
| エラーメッセージ | 原　因 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| DNS 設定を確認してください<br>＜ストップ＞キーを押してください | プロファイルの「対象 URL」の設定で、コンピュータ名が間違っている | プロファイルの設定を確認して、コンピュータ名を訂正してください。<br>設定情報シートの「C-1」の値です。 |
| | ネットワーク上に、DNS サーバが無い。 | プロファイルの「対象 URL」の指定で、コンピュータ名ではなく IP アドレスを指定してください。6-2 をご覧ください。 |
| | ユーザ名がドメインで管理されています。 | ユーザ名に、ドメイン名を追加してください。<br>6-3 をご覧ください。 |
| | Windows ファイアウォールで「ファイルとプリンタの共有」サービスが許可されていない。 | ［コントロールパネル］-［セキュリティーセンター］-［Windows ファイアウォール］を開き、［例外］タブに「ファイルとプリンタの共有」が存在し、チェックが入っていることを確認します。<br>「ファイルとプリンタの共有」を選択し、［編集］をクリックします。「TCP445」が存在し、チェックがはいっていることを確認します。 |
| サーバ設定を確認してください<br>＜ストップ＞キーを押してください | Windows ファイアウォールで、TCP445 が許可されていない。 | |
| | ユーザ名がドメインで管理されています。 | ユーザ名に、ドメイン名を追加してください。<br>6-3 をご覧ください。 |
| サーバログイン失敗<br>＜ストップ＞キーを押してください | コンピュータまたは、プロファイルのパスワードが間違っている。 | コンピュータに設定したパスワードと、プロファイルに設定したパスワードが一致しているか、確認してください。<br>設定情報シートの「C-3」の値です。 |
| ファイル書き込み失敗<br>＜ストップ＞キーを押してください | コンピュータまたは、プロファイルのユーザー名が間違っている。 | コンピュータに設定したユーザー名と、プロファイルに設定したユーザー名が一致しているか、確認してください。<br>設定情報シートの「C-2」の値です。 |
| | 共有フォルダに書き込み許可が設定されていない。 | フォルダの共有設定を確認してください。 |
| 共有名を確認してください<br>＜ストップ＞キーを押してください | プロファイルの URL 指定でフォルダの共有名が間違っている。 | 共有フォルダの名称と、プロファイルの設定とが一致しているか、確認してください。<br>設定情報シートの「C-5」の値です。 |
| ［メール送信完了］が表示されたが、E メールが届かない | E メールの宛先が間違っている。 | 宛先を確認して、再度送信してください。 |
| | E メールに添付できるファイルの大きさが、ネットワークの管理者によって制限されている場合があります。 | 複数回に分けて送信してください。<br>読み取り解像度を下げてください。<br>モノクロで送信してください。 |
| 利用不可能なサーバです<br>＜ストップ＞キーを押してください | スキャン To ネットワーク PC でデータの保存先として NAS をご利用の場合、まれに CIFS で正常に接続できない機器があります。 | 「CIFS 文字セット」を「UTF-16」から「Shift-JIS」に変更して再度お試しください。 |
| ファイル名を変更してください<br>＜ストップ＞キーを押してください | スキャン To ネットワーク PC でデータの保存先として FTP サーバをご利用の場合、使用する文字コードの不一致のために正常に接続できない機器があります。 | 「ホスト側漢字コード」を変更して再度お試しください。<br>FTP サーバとして Mac を使用している場合、「ホスト側漢字コード」を「UTF-8」に変更して再度お試しください。<br>また、スキャン To ネットワーク PC で FTP サーバに保存したファイル名が文字化けする場合、「ホスト側漢字コード」の設定を変更して FTP サーバと設定を合わせると文字化けが解消される場合があります。 |

## 6-2　DNS サーバが無い場合の［対象 URL］の設定方法

ネットワークに DNS サーバが無い場合、コンピュータ名では、コンピュータを指定することができません。この場合は、コンピュータの IP アドレスを使用して、設定します。

ここでは、Windows XP を例に説明します。

❶ コンピュータの IP アドレスを調べます。

1) ［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］を選択します。
2) ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。
3) ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。
4) IP アドレスの値を、「C-1」に記入します。

「C-1」に記入します。

IP アドレスが画面に表示されていない場合は 6) へ進みます。

5) ［キャンセル］をクリックしてウィンドウを閉じます。

☞ ❷へ進みます。

6) ［キャンセル］をクリックしてウィンドウを閉じます。
7) ［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を選択します。
8) 「**ipconfig**」と入力し、エンターキーを押します。
9) IP Address の値を「C-1」に記入します。

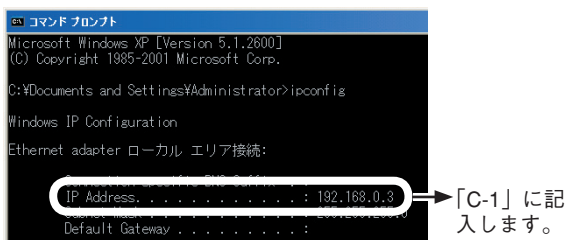
```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥Administrator>ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.0.3
        Default Gateway . . . . . . . . . :
```

「C-1」に記入します。

10) 「**exit**」と入力し、コマンドプロンプトを終了します。

❷ MC860 にプロファイルを設定します。

1) 「3-3　MC860 にスキャン To CIFS のための設定をします。」（22 ページ）の手順に従って、設定します。

このとき、23 ページ、手順❼で入力する値は、この例の場合は、次のようになります。

¥¥ + 192.168.0.3 + ¥ + 販売部門

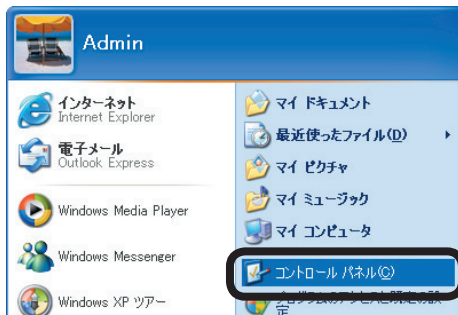
（¥及び数字は半角です。[記号]-[半角]-[英数] を押してから入力します。）

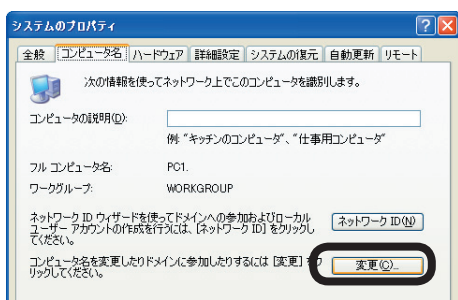
## 6-3　ユーザ名がドメインで管理されている場合の設定方法

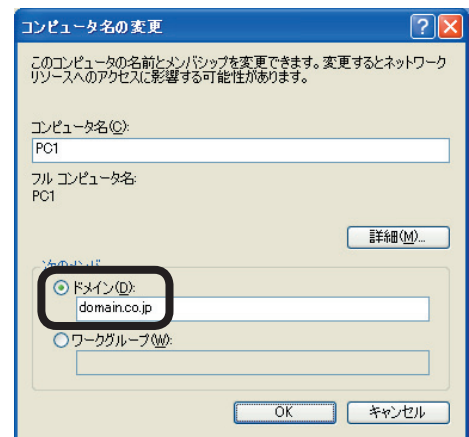
MC860 の LCD 画面に、［DNS 設定を確認してください］、［サーバ設定を確認してください］と表示しているときは、ネットワークがドメインで管理されている場合があります。
ネットワークの管理者に確認し、ネットワークがドメインで管理されている場合は、以下の手順で MC860 を設定します。

ここでは、Windows XP を例に説明します。

❶ ドメイン名を確認します。

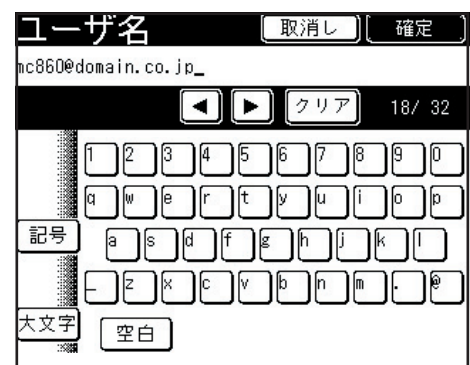
1）［スタート］-［コントロールパネル］を開きます。

2）［システム］（カテゴリ表示の場合は、［パフォーマンスとメンテナンス］-［システム］）を開きます。

3）［コンピュータ名］タブを選択し、［変更］をクリックします。

4）ドメイン名を確認します。

図の例では、domain.co.jp がドメイン名です。

❷ MC860 を設定します。

1）「3-3　MC860 にスキャン To CIFS のための設定をします。」（22 ページ）の手順に従って、設定します。

このとき、23 ページ、手順❾で入力する値は、この例の場合は、次のようになります。

mc860 + @ + domain.co.jp

お使いのネットワーク環境によっては、エラーが解消されない場合があります。その場合は、手順❸以降にお進みください。

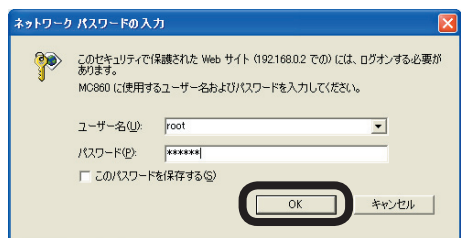
ここでは以下の環境を例に説明します。

装置名：　MC860
装置の IP アドレス：192.168.0.2
MAC アドレス：　00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ：　Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

❸ Web ブラウザを起動します。

❹［アドレス］に「http:// 装置の IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

❺［管理者のログイン］をクリックします。

❻［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に設定情報シートの「G-1」の値を入力し、［OK］をクリックします。

❼［スキップ］をクリックします。

❽［管理者設定］をクリックします。

❾［ネットワーク管理］-［NBT/NetBEUI］をクリックします。

❿［ワークグループ名］に手順❶で確認したドメイン名の最初のピリオドまでを大文字で入力します。

この例の場合は、次のようになります。

DOMAIN

⓫［送信］をクリックします。

MC860 の設定が送信されます。

⓬ 手順❷で設定したユーザ名から @ + ドメイン名を削除します。

## 商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server およびWindows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。

## マニュアルの版権について

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
（携帯電話からは03-5846-5921）

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）

2010年 6月　第3版
44300901EE